

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度版

対象期間

2023年1月1日～2023年12月31日



有限会社 南輝産業

2024年1月8日発行

環境理念

私たち 有限会社南輝産業は、地球規模の環境保全が人類の共通の課題であることを認識し、全従業員による環境の継続的な改善を推進し、よき企業市民として地域社会に信頼される会社をめざします。

環境経営方針

事業主として、一般・産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理を行うにあたり、地域環境保全に努め、環境負荷の削減に取組み、具体的な目標をもって事業に取り組みます。

<行動指針>

1. 環境法令・条例等の法的要求事項やその他の要求事項を遵守します。
2. 環境負荷のかからないリサイクル技術・廃棄物処理を探究し続けます。
3. 省エネルギー、資源の有効利用を目指して、環境負荷削減に取り組めます。
 - (1) 電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 収集運搬・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減
 - (3) 受託一般・産業廃棄物の3R(減量、再使用、再利用)の推進
 - (4) 水資源の節水

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

4. 事故・災害を未然に防ぐための対策を確立し、常に見直します。
5. 環境保全のための従業員教育を積極的に行います。
6. 地域社会の環境活動への積極的参加と地域環境保全の推進に努めます。
7. 工場内の3S（整理・整頓・清掃）の推進と緑化に努めます。
8. 環境経営方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日： 2022年1月1日

取締役社長

川村将寛

エコアクション21の対象組織及び活動範囲

2023年12月1日

□ 組織の概要

1, 名称及び代表者名

有限会社 南輝産業
取締役社長 川村 将寛

2, 所在地

本社 〒890-0031
鹿児島市武岡3丁目36番7号
かごしまリサイクルセンター
〒891-1301
鹿児島市本城町2454-2

3, 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 山北 剛 (統括部長)
連絡先 電話 099-295-1800 FAX 099-295-2800
Eメール info@nanki-sangyo.jp

4, 事業内容

- ・ 一般廃棄物処理業 (資源リサイクル)
- ・ 一般廃棄物収集運搬業 (受託・事業系)
- ・ 産業廃棄物中間処理業
- ・ 産業廃棄物収集運搬業

5, 認証・登録範囲

- ・ 産業廃棄物中間処理業
- ・ 産業廃棄物収集運搬業

6, 対象事業所

- ・ かごしまリサイクルセンター
(本社事務所、事業は

2026年までに認証・登録をします)

7, 事業許可

鹿児島市

① 一般廃棄物処理業許可証

許可番号 135 許可年月日 令和5年7月28日 有効期限 令和7年7月27日
事業の範囲 事業の区分 収集運搬 (積替え、保管を除く)

② 産業廃棄物処分業許可証

許可番号 08224146477
許可年月日 令和2年4月2日 有効期限 令和7年4月1日
事業の範囲

(1) 中間処理 (選別・圧縮)

産業廃棄物の種類
紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶器くず、
がれき類、廃プラスチック類、以上8種類 (これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)

(2) 中間処理 (圧縮)

紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、廃プラスチック類、以上6種類

事業の用に供するすべての施設

(1) 選別・圧縮施設

施設の種類
紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶器くず、
がれき類、廃プラスチック類の選別・圧縮施設
① 日工 (株) 製 二軸破袋機及び選別ライン KH-900
② ペレンク社STジャパン (株) 製 光学選別機 ミストラル
③ 日工 (株) リサイクル4 R4W-450

処理能力
11.728t/日

(2) 圧縮施設

施設の種類
紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、廃プラスチック類の圧縮施設
① (株) 昭和製 油圧ジャンボプレス機 (D) SW770

処理能力

紙くず 238.64t/日 ゴムくず 197.92t/日
木くず 208.8t/日 金属くず 72.8t/日
繊維くず 109.12t/日 廃プラスチック類 166.48t/日

③ 産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号 08224146477
許可年月日 令和4年1月26日 有効期限 令和9年1月26日
事業の範囲

取扱廃棄物 (石綿含有産業廃棄物であるものを除く)

金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (以上2種類については水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。)

廃プラスチック類、ゴムくず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず、以上8種類

(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く) (積替え保管を含む)

積替え又は保管を行うすべての場所、面積、積上げ高さ

所在地	面積	保管上限	積上げの高さ
鹿児島市本城町2454番2	40.0㎡	3.0t	1.6m (容器保管)

施設の種類

金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (以上2種類については水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。)

廃プラスチック類、ゴムくず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず、以上8種類

許可の更新

令和3年5月27日 変更許可 (積替え保管場所の設置)

④ 道路占用許可証

許可番号 指令第建吉第 293-2 号
許可年月日 令和6年4月1日 有効期限 令和11年3月31日

鹿児島県

① 産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号 04602146477
許可年月日 令和2年6月12日 有効期限 令和7年6月11日
事業の範囲

(1) 廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず
以上8種類 (特別管理産業廃棄物であるものを除く。) の収集及び運搬 (積替え又は保管を除く。)

(2) 積替え又は保管を行う全ての場所、面積、積上げ高さ (積替え又は保管を行う場合に限る。)
無し

8. 事業の規模

資本金 950 万円
従業員 25名 (アルバイト、パートを含む)
売上高 179百万円 (2023年度) 201百万円 (2022年度)

9. 法人設立年月日

平成 2年 6月

10. 施設等の状況

かごしまリサイクルセンター

・ 選別・圧縮施設

ペレンク社 ミストラル

昭和 プレス機

日工 リサイクル4

処理能力 11.728t/日

・ 圧縮施設

処理能力 紙くず 238.64t/日

金属くず 72.8t/日

廃プラスチック類 166.48t/日

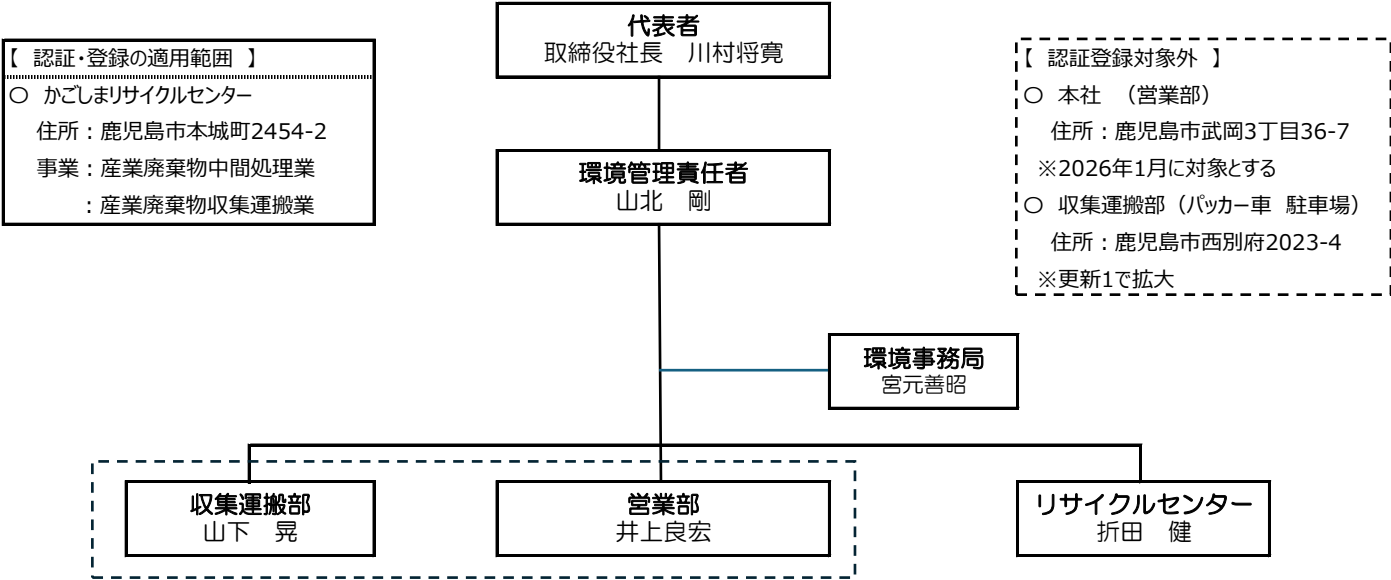
リサイクルセンター

・ 保有車輛 フォークリフト 5 台

クランブリフト ヒンジリフト×2 回転リフト スタビリフト

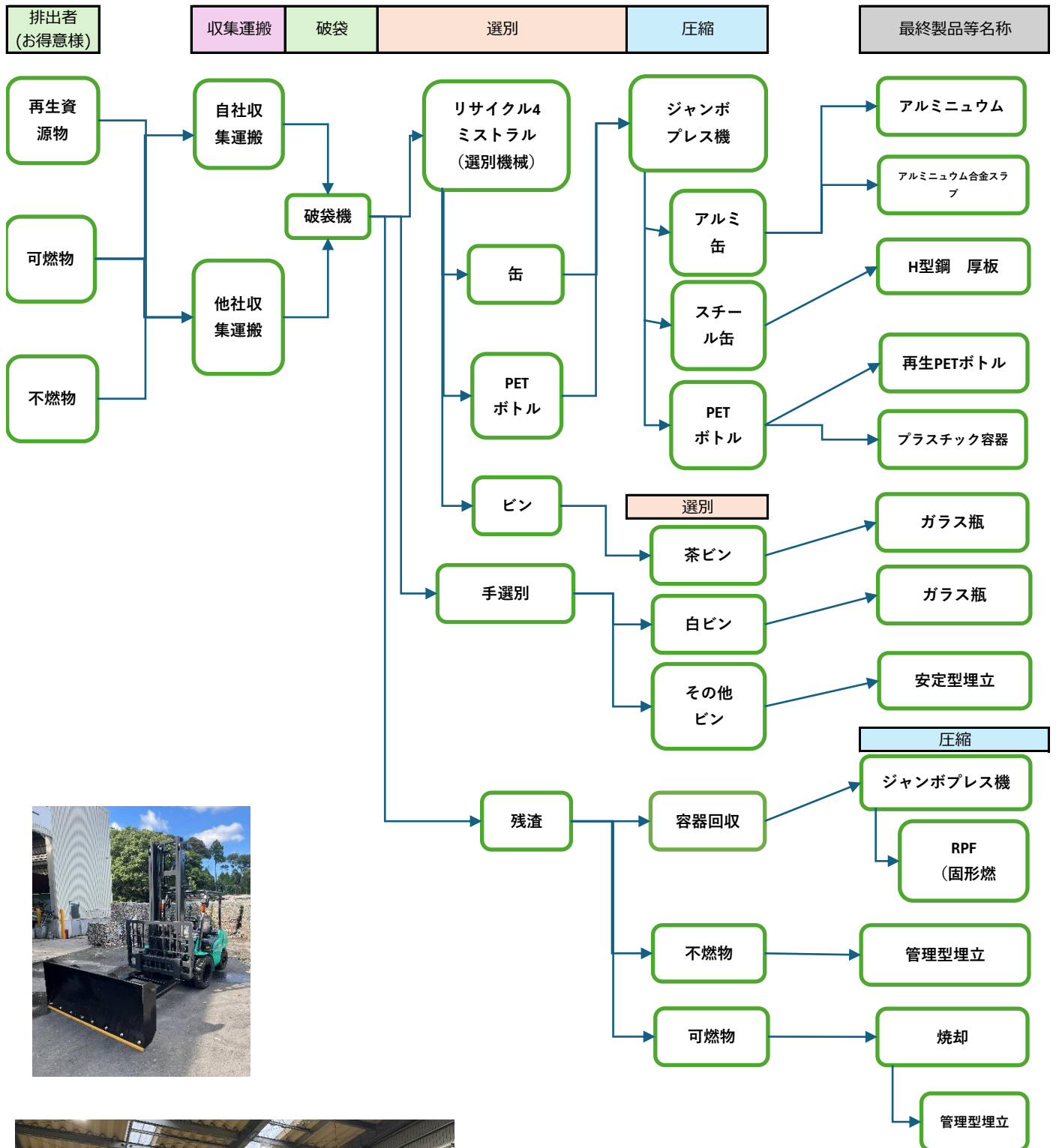
・ 保有車輛 パッカー車 4 台 運搬トラック 1 台

有限会社 南輝産業 環境経営システム体制



役職	役割・責任・権限
代表者（取締役社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等のとりまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・特定された項目の手順者作成及び運用管理 ・環境への自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等とりまとめ表」の作成 ・「環境関連法規等とりまとめ表」に基づく順守評価への実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務局に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する環境教育訓練の実施 ・自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・エコアクション21を理解し、環境への取組の重要性を自覚する ・環境経営方針の理解と決定された環境活動に自主的・積極的に参加する ・環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告

廃棄物処理フロー図



破袋機・選別ライン・ミストラル



ジャンボプレス機

3ヶ年環境経営目標

項 目	単 位	基準値 2022年度		2023年度 年間		2024年度 年間		2025年度 年間	
		実績値		目標値		目標値		目標値	
		2022/1/1～ 2022/12/31		2023/1/1～ 2023/12/31		2024/1/1～ 2024/12/31		2025/1/1～ 2025/12/31	
電力使用量 二酸化炭素排出量	kWh	155,374		153,820 △1%		152,267 △2%		150,713 △3%	
	kg-CO ₂	66,303		65,640		64,977		64,314	
燃料使用量削減	L	軽油	7,359	軽油△1%	7,285	軽油△2%	7,212	軽油△3%	7,138
	L	LPガス	700	LPガス△1%	693	LPガス△2%	686	LPガス△3%	679
	kg-CO ₂	18,991		18,801		18,611		18,421	
CO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	85,294		84,441 △1%		83,588 △2%		82,735 △3%	
一般廃棄物削減 (事務所)	kg	111		110 △1%		109 △2%		108 △3%	
上水使用量削減	m ³	144		143 △1%		141 △2%		140 △3%	
地域貢献活動・ 事務所周辺清掃	回	12		12		14		16	
地下水 使用量削減	m ³	計測器設置が7月の為、 2023年度の使用量を基準 とする		※		2023年の使用量に対して -1%		2023年の使用量に対して -2%	
再資源化率	%	83%		84%		85%		86%	

※ 計測器設置が7月の為、2023年度の使用量を基準とする

2022年度の結果に鑑み、是正処置を実施しました。
電力、水、燃料の削減目標を見直しました。
処理量の増加に伴い、それぞれの使用量も増え当初の削減目標を達成できておりません。
基準値の見直しをして、基準値を2022年度の実績値に設定しました。
今後、更に削減目標に達成できない場合は、再度是正処置を行います。

2023年度の実績

項 目		単 位	2022年度			単 位	2023年度		
			2022/1～2022/12				2023/1～2023/12		
電力使用量		電力会社	九州電力	エバーグリーン	合計	電力会社	九州電力	エバーグリーン	合計
		kwh	13,393	141,976	155,374	kwh	170,123	0	170,123
CO2排出量		kg-CO2	4,969	61,334	66,303	kg-CO2	63,116		63,116
燃 料 使 用 量	項 目	単 位	燃料使用量	単 位	排出量	単 位	燃料使用量	単 位	排出量
	軽油	L	7,359	kg-CO2	18,986	L	8,780	kg-CO2	22,652
	LPガス	L	700	kg-CO2	4	L	620	kg-CO2	4
	CO2排出量	kg-CO2			18,991	kg-CO2			22,656
CO2排出量合計		kg-CO2	85,294			kg-CO2	85,772		
産業廃棄物中間処理量（受託）		t	2,166			t	1,485		
一般廃棄物収集運搬量（自社）		kg	111			kg	112		
再資源化量		t	1,936			t	1,362		
産業廃棄物総排出量		t	367			t	498		
再資源化率		%	83%			%	85%		

※電力二酸化炭素排出係数：九州電力0.371kg-CO₂/kWh：エバーグリーン0.432kg-CO₂/kWh

2023年度の実績と評価

項 目	単 位	基準値		2023年度		
				目標値	実績値	評価
		2022年度実績値		2023年度	2023年度	○達成 ✕未達
電力の削減 (動力・照明)	kwh	155,374		153,820 -1%	170,123	○
	kg-CO ₂	66,303		65,639	63,116	
燃料使用量の削減	L	軽油	7,359	7,285 -1%	8780 +19%	✕
		LPガス	700	693	620	
	kg-CO ₂	18,991		18,801	22,656	
CO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	85,294		84,441 -1%	85,772 +0.005%	✕
一般廃棄物排出量 (事務所)	kg	111		110 -1%	112 +1%	✕
上水使用量	m ³	144		142 -1%	253 +75%	✕
地域貢献活動・ 事務所周辺清掃	回	14		15	16	○
地下水使用量	m ³	計測器設置が7月の為、 2023年度の使用量を基 準とする		※	786	✕
再資源化率	%	83%		84%	85%	○

※計測器設置が7月の為、2023年度の使用量を基準とする

2023年評価総括

1.環境負荷削減の成果

- 電力使用量の削減：電力使用量は目標未達成だが、電力購入先を変更しCO₂排出係数が変わり、CO₂では達成しました。
評価：非常に良好
- 燃料使用量：軽油の使用量が目標に対して +19%増加しており、大幅に未達成。
LPガスに関しては目標値を達成しましたが、軽油の大幅増加が全体のCO₂排出量に大きな影響を及ぼしています。
評価：不十分
- CO₂排出量合計：軽油の使用量の増加で大幅に未達成でしたが、CO₂排出量の合計は基準年に対してわずかに増加してしまいました。
評価：不十分

2.廃棄物および水使用量

- 一般廃棄物排出量：わずかな増加が見られるものの、基準値に近く許容範囲。
評価：良好
- 上水使用量：使用量が目標を大きく超え、+75%の増加。
評価：改善が必要
- 地下水使用量：こちらも +4%と増加し、目標未達成。水資源の管理について、さらなる対策が必要
評価：改善が必要

3.地域貢献活動

- 地域貢献活動として事務所周辺の清掃回数が目標値を超え、良好な結果となっています。
評価：良好

4.再資源化率

- 再資源化率は目標を上回り、85%に達成しました。廃棄物の管理が適切であり、循環型社会への貢献が示されます。
評価：良好

総合評価

2023年の活動では、電力削減や廃棄物管理、地域貢献活動において顕著な成果が見られました。一方で、燃料使用量の大幅な増加や水使用量の増加が深刻な課題として挙げられます。特に燃料の使用量増加がCO₂排出量に影響しており、全体の環境負荷削減目標達成を妨げています。

2023年度 環境経営計画実績内容と2024年度経営計画

2023年度	実施	2024年度経営計画
1 二酸化炭素の排出量の削減 (1) 電力の削減 ① エアコンの温度設定は夏28℃、冬20℃に設定する ② 昼休み時間の不要照明の消灯 ③ 未使用時の電気製品、パソコンのスイッチをこまめに切る ④ 節電の表示を張る ⑤ 窓を開け、自然の風を取り入れる	○ ○ ○ ○ ○	継続
(2) リサイクルセンター重機等の効率的運転の徹底 ① 始業前に重機等の点検・整備を行う ② 効率の良い作業を心がける（作業前ミーティング）	○	継続
2 一般廃棄物の削減 ① 紙の両面使用とミスコピーの削減 ② 裏紙のメモ用紙などへの活用 ③ 段ボール類の有効活用	○ ○ ○	継続
3 地下水使用の削減 ① 地下水の垂れ流しなどしない ② 手元切替バルブなどを有効活用する	○ ○	継続
4 地域環境保全活動 ① 事務所・リサイクルセンター周辺の清掃活動を実施する ② 上部団体の清掃活動に積極的に参加する	○ ○	継続
5 グリーン調達の推進 ① コピー用紙の再生紙(古紙配合)への切替推進 ② 事務用品のグリーンマーク製品購入推進	○ ○	継続

○：実施
 ×：未実施



環境関連法規等の遵守状況、法違反、訴訟等の有無

(1) 当社が法的義務を受ける主な環境関連法・条例等は次の通りです

法令・条例名	該当する設備・項目	要求事項
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物処理業（資源リサイクル） 一般廃棄物収集運搬業（受託・事業系） 産業廃棄物処理業 産業廃棄物収集運搬業	① 一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬・処分業許可更新 ② 顧客や処分業者との委託契約 ③ 産業廃棄物管理票発行管理と交付等状況報告者県への提出 ④ 収集運搬・中間処理実績県への報告 ⑤ 車両収集運搬中表示 ⑥ 中間処理場表示管理 他
資源有効利用促進法	業務用パソコン	使用済パソコン等のメーカー回収義務
浄化槽法	合併浄化槽	① 定期点検 ② 定期清掃 ③ 定期水質検査
家電リサイクル法	使用済小型家電 電子機器 電気機械器具	① 再資源化促進 ② 使用済機器の分別排出 ③ 再資源化を適正に処理し得る業者への引き渡し
自動車リサイクル法	社用車 パッカー車	① 使用済自動車の引取業者引渡し ② 新車購入時のリサイクル費用負担

(2) 法規制等の遵守状況を2023年12月に実施した結果、環境法規制等の逸脱はありません。また、法的違反や訴訟、行政棟からの指導、地域住民等からの苦情はありません。

(2023年12月末現在)

2023年度 代表者による全体評価と見直し・指示

活動の評価

- 1.電力使用量の削減：電力使用量は目標を超えて削減され、CO₂排出量も大幅に減少しました。
- 2.燃料使用量の増加：軽油使用量が大幅に増加し、CO₂排出量が目標を大きく上回りました。
- 3.水使用量の増加：上水と地下水の使用量が目標を超え、節水対策が必要です。
- 4.地域貢献活動：事務所周辺の清掃活動が定期的の実施され、良好な結果が得られました。

今後の課題と取組みの指示

課題1.燃料使用量の更なる削減

軽油使用量大幅な増加がCO₂排出量に大きく影響しているため、燃料使用の効率化と指示

課題2.水使用量の管理強化

上水および地下水の使用量が増加しているため、節水対策の徹底と漏水防止策の強化が必要

課題3.環境意識の向上

従業員への環境教育を強化し、全社的な環境負荷削減の取り組みを促進する。

具体的な行動計画

1.燃料使用量削減の徹底

- 軽油使用の見直し

軽油使用の現状を分析し、効率化のための改善点を特定する

空ふかし、アイドリングストップ など

- 代替エネルギーの導入

電動車両の導入を検討する。

走行性能、パワーなど電動車両の性能を検討する

2.CO₂排出量削減戦略

- 新たな削減目標の設定

燃料使用量削減に基づくCO₂排出量の新たな削減目標を設定する

削減目標達成のために全従業員への情報共有（掲示版への数量貼りだし）

- 実行計画の策定と実施

各部門ごとに具体的な削減目標を検討する。

定期的に進捗情報を共有する。

3.水資源管理の強化

- 節水対策の徹底

節水設備（手元切替バルブ）の導入を進める

従業員に対する節水意識向上のための教育を進める。

4.環境意識向上

- 従業員教育の強化

環境負荷削減に関する研修を定期的に実施する。

環境に関する最新情報や成功事例などの事例を共有する場を設ける

全従業員が削減事項、目標、取組などの情報を共有する為に掲示板を設置し随時情報のアップデートを行う

2023年度の環境活動において、私たちは電力使用量の削減や廃棄物管理、地域貢献活動において顕著な成果を上げましたが、燃料使用量の大幅な増加や水使用量の増加が深刻な課題として浮き彫りになりました。これらの課題を踏まえ、2024年度の環境目標として、燃料使用量削減に基づくCO₂排出量の新たな削減目標を設定し、全従業員への情報共有を徹底し、各部門ごとに具体的な削減目標を検討し、定期的に進捗情報を共有します。さらに、節水設備（手元切替バルブ）の導入を進め、従業員に対する節水意識向上のための教育を実施し、環境負荷削減に関する研修を定期的に行い、環境に関する最新情報や成功事例を共有する場を設け、全従業員が削減事項、目標、取組などの情報を共有するために掲示板を設置し、随時情報のアップデートを行います。これらの目標と取り組みを通じて、私たちは持続可能な社会の実現に向けて一步一步前進してまいります。